



2020 年 10 月 5 日

アウディ ジャパン株式会社  
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106  
アウディ コミュニケーションセンター

## SUPER GT 第 5 戦、Audi R8 LMS が惜しくも入賞を逃す

- #21 Audi Team Hitotsuyama が予選 20 位から一時 9 位まで追いつけるも 12 位でレースを終える
- #33 X Works は予選 26 位からスタートし、29 位でレースを完走

アウディ ジャパン株式会社 (本社:東京都品川区、代表取締役社長:フィリップ ノアック) は、Audi R8 LMS で 2020 年シーズンの SUPER GT GT300 クラスに参戦するカスタマー (プライベート) チームをサポートしています。10 月 3 日 (土) ~4 日 (日)、富士スピードウェイ (静岡県 1 周 4,563m) で 2020 SUPER GT 第 5 戦となる「FUJI GT 300km RACE」が開催されました。

今シーズンは、新型コロナウイルスの影響により約 3 ヶ月遅れでのシーズン開幕となり、開催するサーキットを、富士スピードウェイ、鈴鹿サーキット、ツインリンクもてぎの 3 ヶ所に限定。前回 4 戦目までは、感染拡大防止のための措置として無観客でレースが行われてきましたが、この 5 戦目からは制限付きながらも久しぶりに観客を迎えての開催となりました。

アウディ ジャパンとパートナーシップ契約を締結している#21 Audi Team Hitotsuyama は、今シーズンは Audi Sport ドライバーであるクリストファー ミース選手と川端 伸太朗選手がコンビを組む予定でしたが、新型コロナウイルスの影響によりミース選手の来日がかなわず、今回も近藤 翼選手にステアリングが託されました。

#33 X Works は、昨年の SUPER GT GT300 クラスをはじめ、スーパー耐久にも参戦する香港国籍のレーシングチームです。人気アニメ「エヴァンゲリオン新劇場版」とのプロモーションタイアップにより、エヴァンゲリオン初号機をイメージしたカラーを採用。ドライバーは香港人コンビのショウン トン選手とアレックス アウ選手の予定でしたが、新型コロナウイルスの影響によりアウ選手が入国できず、第 5 戦は代役として久しぶりに SUPER GT への参戦となる佐々木 孝太選手がエントリーしました。

土曜日の予選は雲に覆われた天候のもと、気温 22℃、ドライコンディションでのタイムアタックとなりました。参加車両の多い GT300 クラスの予選は、A 組、B 組の 2 つに分かれて行われ、それぞれ Q1 での上位 8 台が Q2 へと進出するノックダウン方式となっています。今大会では、#21 Audi Team Hitotsuyama と #33 X Works の 2 台ともに B 組に参加。それぞれ #21 川端選手と、#33 ショウン トン選手が予選に挑みました。B 組の予選は 0.5 秒にトップ 10 がひしめく大混戦となりました。10 位の #21 川端選手と Q2 進出ラインの 8 位とのタイム差はわずか 0.042 秒でした。両チームともに Q1 突破とはならず、最終的に #21 Audi Team Hitotsuyama は予選 20 位、#33 X Works は予選 26 位となりました。

日曜日午後 1 時 30 分、気温 21℃、曇天ながらもドライコンディションで、決勝レースがスタート。#21 Audi Team Hitotsuyama のスタートドライバーは、近藤選手がつとめました。スタート直後、1 コーナーで GT500 クラスの接触により、1 周目からセーフティカーが導入される展開に。近藤選手は再スタート後も冷静にスタートを決め、9 周目あたりから展開が落ち着きはじめると追いつけをスタート。見事なパッシングを繰り返し 14 位まで 6 つポジションをアップ。24 周を終えて第 2 スティントの川端選手へとドライバー交替しました。川端選手もトップチームに迫るタイムで好走をみせ、上位チームと激しいバトルを繰り広げながら、46 周を終えた頃には 9 位入賞圏内を走行していました。しかし、レース後半、周回遅れのマシンを追い抜く際のミスで順位を落としてしまい、最終的に惜しくも 14 位完走となりました。#33 X Works はスタートドライバーを佐々木選手がつとめ、スタートポジションをキープしながら

29 周を走行。第 2 スティントのショウン トン選手へとドライバー交代しました。ショウン トン選手はトラブルに見舞われながらも最終的に 29 位完走となりました。

#### **#21 Audi Team Hitotsuyama チーム代表 一ツ山 亮次氏のコメント**

「前戦 5 位に入賞した勢いを保ちたいと臨んだ富士でした。土曜、午前中の練習走行から各チームのタイムが拮抗していて、予選 Q1 を突破できるか微妙なラインにいることはわかっていました。そこで予選は A ドライバーの川端選手に託しました。マシンの調子もよく、本人も Q1 を通過できた感触があるという会心のアタックでしたが、わずか 0.042 秒の差で Q1 敗退となってしまいました。結果的に 20 番手のスタートで、決勝では期待どおり近藤選手もジャンプアップをみせてくれて、ピット作業も非常にうまくいきました。第 2 スティントの川端選手も上位チームと変わらないタイムでラップして一時は入賞圏内を走行していましたが、後半にタイヤの状況が悪化するなどミスも重なってポジションを落としてしまいました。ただ、チームとしてはいい状態にありますので、次の鈴鹿、そしてもてぎと連続ポイントを狙っていきます」

#### **#21 Audi Team Hitotsuyama 川端 伸太郎選手のコメント**

「今回はこれまでとは違うセッティングで、タイヤも新しいコンパウンドのものを使用していて、マシンのフィーリングとしてはとてもよかったです。足りないのは BoP で絞られているストレートスピードくらいだと感じました。それだけに次の鈴鹿は期待できると思います。決勝では前半はとてもいいタイムで走れたのですが、後半にタイヤカスを拾ってしまうと、これまでとは違う症状がでてそれにすごく悩まされ、タイムを落としてしまいました。なんとか入賞圏内まで追い上げる走りが出来たので、これを次に活かさなければいけないと思っています。次は前回、調子が良かった鈴鹿ですし、とりこぼしがないように頑張ります」

#### **#21 Audi Team Hitotsuyama 近藤 翼選手のコメント**

「レース開始早々にセーフティカーが入って、いきなりペースアップをするのが難しい展開でしたが、前半はいいペースで走ることができ、いくつかポジションをあげることができました。後半は#10 号車とのバトルもあって、あまり無理をしすぎないように、タイヤをいたわりながらの走行を心がけていました。今シーズン 5 戦を走ってきて SUPER GT というレースの 500 クラスとの混走の難しさを痛感していますし、ようやくそれになれてきた感触もあります。予選でもう少し上位からスタートできれば決勝レースは全く異なる展開になると思いますし、次の鈴鹿ではしっかりと結果が残せるように頑張ります」

アウディ ジャパンは 2016 年来、Audi Sport customer racing パーツトレーラーを全国のサーキットに配備してレースに参戦するカスタマーチームをサポートしています。今年も専用のトレーラーにボディ、トランスミッション、エンジン等、レース車検に適合した約 2,700 アイテム、約 11,000 点の部品を積載し、いかなるレース展開にも対応できるように体制を整えて、SUPER GT、スーパー耐久、および TCR ジャパンに参戦するチームと共に国内外のサーキットを転戦しています。

次戦、SUPER GT 第 6 戦は、10 月 24 日（土）～25 日（日）、鈴鹿サーキットにて開催予定です。